

詔書

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ皇祚ヲ踐ル  
大日本帝國天皇ハ昭ニ忠誠勇武ナル汝有  
取ニ示ス  
朕茲ニ米國及英國ニ對シテ戰ヲ宣ス朕カ陸  
海將兵ハ全力ヲ奮テ交戰ニ從事シ朕カ百  
僚有司ハ勤精職務ヲ奉行シ朕カ庶民各、  
其ノ本分ヲ盡シ億兆一心國家ノ總力ヲ擧ケテ  
征戰ノ目的ヲ達成スルニ遺算ナカラムコト  
ヲ期セヨ  
抑、東亞ノ安定ヲ確保シ以テ世界ノ平和ヲ

寄與スルハ丕顯ナル皇祖考丕承ナル皇考、  
作述セル遠猷ニシテ朕カ拳々措カサル所而  
シテ列國トノ交誼ヲ篤クシ萬邦共榮ノ  
樂ヲ偕ニスルハ之亦帝國カ常ニ國交ノ要  
義ト爲ス所ナリ今ヤ不幸ニシテ米英兩  
國ト釁端ヲ開クニ至ル洵ニ已ムヲ得サルモ、  
アリ豈朕カ志ナラムヤ中華民國政府曩ニ  
帝國ノ眞意ヲ解セス濫ニ事ヲ構ヘテ東  
亞ノ平和ヲ攪亂シ遂ニ帝國ヲシテ干戈ヲ執  
ルニ至ラシメ茲ニ四年有餘ヲ經タリ幸ニ國

片  
尾

民政府更新スルアリ帝國ハ之ト善隣ノ誼  
ヲ結ヒ相提携スルニ至レルモ重慶ニ殘存スル政  
權ハ米英、庇蔭ヲ恃ミテ兄弟尚未タ牆ニ相  
鬪クヲ悛メス米英兩國ハ殘存政權ヲ支援シ  
テ東亞ノ禍亂ヲ助長シ平和ノ美名ニ匿レテ  
東洋制覇ノ非望ヲ逞ウセムトス刺ヘ與國ヲ誘  
ヒ帝國ノ周邊ニ於テ武備ヲ增強シテ我ニ挑戰  
シ更ニ帝國ノ平和的通商ニ有ラヌル妨害ヲ與  
ヘ遂ニ經濟斷交ヲ敢テシ帝國ノ生存ニ重大  
ナル脅威ヲ加フ朕ハ政府ヲシテ事態ヲ平和、

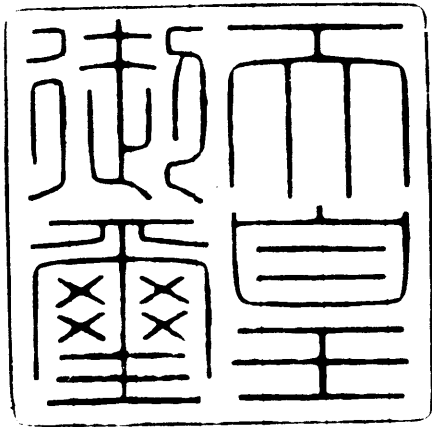
内  
閣

裡ニ回復セシムトシ隱忍久シキニ彌リヌルモ彼ハ  
 毫モ交譲ノ精神ナク徒ニ時局ノ解決ヲ遷  
 延セシメテ此ノ間却ツテ益々經濟上軍事上ノ  
 脅威ヲ増大シ以テ我ヲ屈從セシムトス斯ノ  
 如クニシテ推移セムカ東亞安定ニ關スル帝國  
 積年ノ努力ハ悉ク水泡ニ歸シ帝國ノ存立亦  
 正ニ危殆ニ瀕セリ事既ニ此ニ至ル帝國ハ今  
 ヤ自存自衛ノ爲蹶然起ツテ一切ノ障礙ヲ  
 破碎スルノ外ナキナリ  
 皇祖皇宗ノ神靈上ニ在リ朕ハ汝有衆ノ

月  
 日

忠誠勇武ニ信倚シ祖宗ノ遺業ヲ恢弘シ  
 速ニ禍根ヲ芟除シテ東亞永遠ノ平和ヲ  
 確立シ以テ帝國ノ光榮ヲ保全セムコトヲ  
 期ス

裕仁



内  
 閣

昭和十六年十二月八日

內閣總理大臣兼  
文部大臣  
國務大臣  
農林大臣兼  
厚生大臣  
司法大臣  
海軍大臣  
外務大臣  
逓信大臣

東條英機  
齋藤實  
鈴木貞一  
小泉純一郎  
寺島謙吉  
東鄉英一  
寺島健一

大藏大臣  
賀屋興宣  
商工大臣  
岸信介  
鐵道大臣  
八田嘉明

内閣  
閣